院内感染対策に関する取り組みについて

1 基本的考え方

当院は、感染防止対策を病院全体として取り組み、病院に関わる全ての人たちを感染から守るために、「標準予防策」を基本とした対策と感染経路に応じた予防対策を実践します。また、病院内外の感染症情報を広く収集して、院内感染の危険性及び発生に迅速に対応することを目指します。院内感染が発生した事例については、速やかに予防策の実施及び評価を行い、感染対策上の不備や不十分な点の改善に努めます。

2 組織体制についての事項

当院における院内感染対策活動の中核的な役割りを担うために、病院長の諮問機関として「院内感染対策委員会」を設置しています。委員会は月 1 回を基本として必要時には随時開催します。さらに実働部隊として「感染対策チーム」を設置し、週 1 回のラウンド等を行い、感染問題に迅速に対応しています。

3 職員研修についての事項

全職員を対象とした感染対策に関する研修会を年 2 回行うほか、必要に応じて臨時研修会を開催します。また、各部署に感染対策マニュアルを配備し、感染防止のための基本的な考え方や具体的な方法について、全職員への周知を行っています。

4 感染症発生状況報告に関する事項

法令に定められた感染症届出の他、院内における耐性菌等に関する感染情報レポートを作成し、院内感染対策委員会及び感染対策チームでの検討及び現場へのフィードバックを実施しています。また、連携する他医療機関等と情報共有を図ります。

5 感染症発生時の対応に関する事項

院内感染発生が疑われる場合には、アウトブレイク対策委員会を招集し、感染経路の遮断及び拡大防止に努めます。また、必要に応じ、地域の他医療機関や保健所と速やかに連携し対応します。

6 患者さんへの情報提供に関する事項

感染症の流行が見られる場合には、ポスター等の掲示物で広く院内に情報提供を行います。あわせて、感染防止の意義、手洗い・マスクの着用、面会制限などについてご理解とご協力をお願いします。